

生徒指導部通信

令和3年度第4号

令和3年10月1日

作成 宮下 将明

夏季略装期間中にもかかわらず、ブレザージャケットを着て、教室に入っていく3年生の姿を見たことはありませんか？ 3年生が進路実現のための面接練習で、身だしなみを整える姿をあちこちで見る機会が増えました。

そこで今回は、皆さんにとって日常の服装といえる制服の特徴について、振り返ってみましょう。

A) ユニフォーム

「制服」という言葉を辞書で引くと「(生徒・警察官など)ある集団に属する人が着るように定められた服装。ユニホーム。」(『広辞苑』より)と説明されています。制服は集団において統一された服装です。なぜ統一するのでしょうか？ 皆さんが学校祭で制作したクラスTシャツを例に考えてみましょう。単に「楽しいから」とか「盛り上がるから」というクラスもあったかもしれませんが、学校行事で何千円ものお金をかけて衣服を統一する学校やクラスが多いのは、「一体感が生まれる」とか「団結できる」とか「皆と仲良くなれる」といった理由が大きいと思います。学校の制服も同様の目的や効果があるのです。

B) フォーマルウェア

一方で、学校の制服にはフォーマルウェアの性格があります。フォーマルウェアとは、式場やパーティーなど正式な場所に着ていく衣服のことをいいます。社会人は、TPOに合わせた衣服を着用することが求められます。結婚式や葬儀などにみられる衣服が典型です。皆さんが結婚式や葬儀といった場に制服を着ていくことができるのは、制服がフォーマルウェアの性格をもっているからです。本校ではこの観点からブレザースーツを制服として、日常的に着用し、着こなせるようになってほしいと考えています。

C) “看板”

学校で生徒が着るように定められていますので、地域の方々からも一見してどこの学校の生徒か分かるのも制服の特徴です。これは決して小さな町だけでなく、大きな街でも同様です。制服を着ることで、自分がどこの学校の生徒であると明示することになります。看板を背負って歩くようなものです。したがって、良い行動をとれば称賛され、良くない行動をとれば指摘されたり、非難されたりするといったこともあります。

D) 人を見た目で判断する

かつて「見た目で好きになるほど子どもじゃない」という言葉を残したテレビCMがありました。見た目だけではなく、内面を見つめることができる大人になりたいですね。それでも人は見た目に左右されてしまいます。だからこそ皆さんは高校受検でも、大学や専門学校、あるいは就職などの試験でも、頭髪から靴の先まで整えて面接に臨むのではありませんか？

先程も触れましたが、皆さんは看板を背負って歩いているようなものです。皆さんのユニフォームや身なりが乱れていると、それを見た人にどう映り、どのような印象を与えるのでしょうか？ そんな想像力を働かせられる人になってほしいと思います。

制服を着崩すのではなく、着こなしましょう。普段の着こなして、どこに行っても、例えば冠婚葬祭や面接に行っても、感心されるレベルにしませんか？ 受験直前の「気をつけることリスト」に「制服のボタンは…」など書いているようでは先が思いやられます。